



同友会便り

第255号

平成30年6月1日
〒010-0444 秋田県南秋田郡
大潟村南1-33
株式会社 大潟村同友会
編集責任者 鈴木貫示

五月の農作業

当地にも和風薫る五月がやってきました。和風とは柔らかく穏やかな春風のことです。湿気もなく爽やかで、緑も豊かに萌え出でて生命力あふれるこの時季は一年の中でも最も良い季節と言えます。残念ながら我々農家にとっては、農作業

で忙しくしているうちに、あっと言う間に過ぎ去って行く季節でもあります。

(一)代かき

その五月、最初に行う作業は代(しろ)かきです。田起こしした田んぼに水を引き入れ、土を細かく



砕き、水を含ませて泥状にしていきます。遊離した塩類を再び土に結合させ、pHも調整し、根から排出された老廃物も洗い流し、水持ちも良くして、雑草を抑える効果も持ちます。まさに土をリセットし、水田を準備する作業です。

作業は左上の写真のように、トラクタにパディハローという作業機を付けて行います。先に述べたように土を砕いて泥状にするのと同時に、わらや草を沈め、田面をできるだけ平らにしなければいけないという、難しく根気の要る作業です。

前号でも触れました息子のトラクタ修行も、この代かき作業をもって仕上げとなります。「やってはみたけど自信はない」と弱音も吐いておりますが、なーに心配することはありません。私の父も「代かきだけは自信がない」と終生言っておりましたし、親子三代ダメダメな代かきでもしかたないでしょう(笑)。



そして今年は、ユリカモメの群れがやってきました。ここ数年、来たり来なかつたりですが、来なかつたら、はて？今年はどうしたんだろう...と心配になります。いつの間にかユリカモメの到来を心待ちにしている自分



に気づきます。

(二)田植え

右の苗の写真、上が種を播いてから10日ほど経過したもの、下は田植え直前、5月14日の様子です。真ん中の隙間を挟んで右側があきたこまち、

よいおこめでごはん
電話 0120-410558

おおがたむらのよいごはん
FAX 0120-041582

上記フリーダイヤルで繋がらない場合(IP電話の一部等)下記まで連絡をお願いいたします。

電話 0185-45-2489

FAX 0185-45-2093

大気が不安定…?



天気予報で「大気が不安定になっていますのでご注意ください」という言い方をよく耳にしますね。

「大気が不安定」とは、上空5500mの気温と、地表との気温差が40以上ある状態を不安定と呼ぶそうです。つまり気温10の日でも、上空に-30の寒気団があれば大気が不安定、ということになります。こういう天気のとときには、降ひょう、落雷、突風、竜巻などが発生しやすいため、注意をしなければなりません。

写真は、5月4日の代かきの最中、やはり大気が不安定という予報が出た日のことです。

やにわに空を黒雲が覆い、あたりは真っ暗となり、強い雨と風、あちこちで雷が落ち始めます。ひょうの降ることはありませんでしたが、悪天候のカタログを見ているかのような大荒れでした。おかげで不気味な写真は撮ることはできましたけど。(鈴木貫示)

左側がミルキープリンスです。最初はミルキーが先行するものの、こまちが追いついてきて見分けはつかなくなりまます。
ですから、軽トラに苗を積む時とかには、間違えないように嚴重に注意しなければなりませんよ。
5月中旬、田植え作業が始まりました。
田植え作業もまた天候の良し悪しによって左右されます。なにせ苗は温室育ち(笑)。気温は高くないと作業に適しま

せん。最高気温14 あれば大丈夫といいますが、15、16は欲しいですね。気温が低いと、人間の方もまいってしまいます。また、風の強い日も避けます。
この辺の感覚は、人間の方の感覚とよく似ています。今日は寒いからやめよう。風が強いからやめよう。結果的に人間の都合を優先させても同じ結果になるのは、人間もまた温室育ちだからなんですよ(笑)
さて順調に思えた田植え作業ですが、一日間中断するこ

とになりました。大雨が降ったからです。



休業日のお知らせ

2018年 6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

2018年 7月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

今月・来月の休業日は右の色つき部分となります。
休業日のご注文は留守番電話・FAX・インターネットにて受け付けております。
尚、休業日中にご注文頂いたお荷物は、翌営業日に弊社からの発送となります。

(三)大雨

5月18日、前日から降り続いた雨は24時間に一八〇ミリの降雨量を記録し、秋田県では昨年七月以来の洪水被害を受けることになりました。

大潟村はさしたる被害もなかったはずですが、それでもビニールハウスが冠水したのは初めてです。また梅雨でもないのに五月にこんな雨量も初めてのことでした。

田んぼも水がたつぷりと溜まっておりましたが、稲はわりと平気なんです。ハウスの方もすぐに水は引きました。軽トラのタイヤがぬかるんでスタックしてしまいそうなどころは、コンパネを敷いて走行したので大丈夫です。こんなものは被害と呼べるほどのものでもありません。



ただ県内の洪水被害に遭われた方にはお気の毒です。せっかく植えた田んぼに泥水がかぶり、代かきからもう一度やり直す農家もあつたそうです。心よりお見舞いを申し上げます。
そんなわけで色々あつた田植え作業ですが、5月23日、無事に終了したのでした。この新聞を作りながら骨休めしています。(鈴木貫示)